

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和7年度第2回愛川町下水道運営審議会		
事務局 (担当課)		建設部 下水道課 内線(3433)		
開催日時		令和8年1月27日(火) 13時00分～14時54分		
開催場所		201会議室		
出席者	委員	7人 (別紙のとおり)		
	その他	1人		
	事務局	6人 (建設部長、下水道課長、ほか4人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開	傍聴者数	0人
非公開・一部公開の場合は、その理由				
会議次第		1 開会 2 会長あいさつ 3 議題 (1) 愛川町下水道中期ビジョン改訂版中間見直し(案)について (2) 愛川町公共下水道事業経営戦略改定(案)について (3) その他 4 閉会		

審 議 経 過

(1 / 6)

主な内容は次のとおり (○は委員の発言、●は事務局の発言)

1 開会

2 会長あいさつ

3 議題

(1) 愛川町下水道中期ビジョン改訂版中間見直し (案) について

【事務局説明】(1) 愛川町下水道中期ビジョン改訂版中間見直し (案) について説明

【質疑応答】

○ (議長) もし、市街化調整区域に対し、下水道を整備するとしたら、このビジョンで記載してから整備していくことになりますよね。

● (事務局A) はい。ただ、町では都市マスタープランという町づくりの基本方針を定めておりますが、現時点では、市街化調整区域に対しての下水道の整備については、計画されていないことから、都市マスタープランとの整合を図る必要がありますので、今回は、このような表現で留めさせていただきたいと考えております。

○ (議長) 他の自治体の例を見ると、市街化区域に下水道が全部行き渡ると、市街化調整区域に住んでいる住民から、衛生的な公共下水道が欲しいので、整備してほしいといった要望が出てくるかあると思います。大規模な区画整理や開発があれば、その区域には下水道は整備されると思いますけれど、こういった町民からの要望があった時にどうするかは考えておいた方がいいと思います。

○ (A委員) スtockマネジメント計画に基づく、テレビカメラを利用した管路の点検・調査の結果、早期対応が必要と確認された管については、改築や補修を行い、良好な下水道機能の維

※主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

会長(委員長)
署名欄

荒井 英明

審 議 経 過

(2 / 6)

持に努めておりますと記載がありますが、この改築や補修の内容がどのような内容だったのか教えてください。

- (事務局B) 早期の対応が必要となった管について説明させていただきます。1つ目としては、平成28年度のカメラ調査の結果、田代地区のマンホール3基と、口径70センチ、延長が63メートルあるコンクリート製の管が腐食していることが確認されました。マンホール3基については、内面の壁のところにモルタルを塗る更生工事を行っております。それとコンクリート製の管は道路を掘り起こさずに、既設のマンホールの内部から腐食しているコンクリート管の内側に、硬質塩化ビニール製のプロファイルという更生材をつける更生工事を行っております。また、令和5年度のカメラ調査結果では、管の内部に木の根っこの塊が確認されたほか、管のつなぎ目が脱落していた箇所がございましたので、速やかに補修をいたしました。

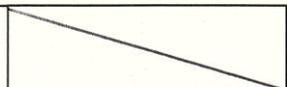
- (議長) 管が裂けてるという話がありましたが、汚水の場合、そこから漏れた水が原因で、周辺の地盤が悪くなった結果、地盤沈下が起こって管ごと壊れるなど、将来的に大きな事故につながるケースもあると思いますが、管が裂けていることが原因で、汚水が漏れ出しているかを確認する方法は、このカメラ調査以外はないのでしょうか。

- (事務局B) 管が裂けていることが原因で汚水が漏れていることを確認するのは、やはり管の内部になりますので、カメラ調査でないと確認は難しいです。先ほどの補足ですが、本町の場合、例の埼玉県のような大きい管が埋設されているわけではないので、先ほど補修の説明をした管も口径25センチで、穴が空いていて少し漏れていたぐらいのものになります。

- (議長) そうすると、その程度の管であれば、周りの土砂に対し、汚水を撒き散らした結果、土砂が緩まって道路が陥没するということには繋がらないってということでしょうか。

※主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

会長(委員長)
署名欄



審 議 経 過

(3 / 6)

●（事務局C）繋がりにくいです。完全に起きないかと言われたら、そうではないと思われませんが、やはり、大口径や汚水の流れる量が多いところの方が、破損があった場合は道路の陥没が起きやすいと思われま

○（議長）そうすると、大きな事故につながるのは、口径2メートル以上の大きな管だということですね。

○（議長）「愛川町下水道中期ビジョン改訂版中間見直し（案）について」は、諮問のとおり決定したいと思いますが、ご異議ありませんか。

○（全員）異議なし

（2）愛川町公共下水道事業経営戦略改定（案）について

【事務局説明】（2）愛川町公共下水道事業経営戦略改定（案）について説明

【質疑応答】

○（B委員）人口が多い市では、下水道の整備や維持管理に係る費用をより多くの使用者で分担できるため、下水道使用料は安くなる。この説明も当てはまるとは思いますが、そうすると、人口が多くて、面積が小さい町はすごく安くなるということになって、厚木市や相模原市は、当然愛川町より広いですけど、その分、下水道の維持コストもかかると思いますので、これだけの説明だと不足しているのではと思います。人口だけで対比するのではなくて、他の理由も併記した方がいいと思います。

○（議長）下水道使用料を近隣の相模原市や厚木市と比べたときに、愛川町の方が高くなっていることについて、その理由は、人口だけではないのではといったご指摘ですが、他にも効率的

※主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

会長(委員長)
署名欄

審 議 経 過

(4 / 6)

に下水道を使用できているといった点もあると思います。例えば、大都市は住宅や下水道排水施設が密集していたり、放出する川までの距離が近かったり、自然流化できる勾配があるなど他にも理由があるかもしれません。愛川町は、住宅が若干分散していて、管の距離にロスがあることから、コストが余計にかかるという理由があるかもしれないですけど、相模原市や厚木市は、人口とは別の何か理由があるのではないのでしょうか。

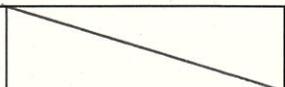
●（事務局A）人口密度についても1つの要因だと考えています。その他にも、愛川町の特徴として、愛川地区にも市街化区域がありますし、中津地区にも市街化区域がありますように、下水道区域が広いということで、その分支えるコストが高いということも要因として考えています。人口の要素もございまして、維持管理にかかるコスト、そういったものを総合的に見て、今のような料金体系になっていますので、人口が多いから安い、少ないから高いとかではなくトータル的な結果として捉えていただけたらと思います。

●（事務局B）要するに汚水処理にかかるコストに対し、効率良くできている方が、使用料が安くなりますけれども、そういう基準として、経費回収率という数値があります。令和5年度の数値では、愛川町90.56%に対して、相模原市が106.5%、厚木市が114.3%なので、経費回収率でみると、厚木市の方が、汚水処理にかかる費用が少なく、かつ使用料が集められているという分析となっております。

○（議長）管の中の調査や修繕、あるいはポンプ場の修理等に費用がかかり、維持補修費が上がっていることから、下水道使用料の改定について、今後検討しなければいけないことは、経営戦略の中に書いてありますでしょうか。国が示している水準が150円/m³なので、現在の144.59円/m³から将来的に改定しなければいけないという説明は、町民の方に向けての説

※主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

会長(委員長)
署名欄



審 議 経 過

(5 / 6)

明としては不足していると感じます。将来的に、町民の衛生環境を守るためにも、古くなった管やポンプ場の修繕等の維持補修コスト、それから、流域下水道に支払う負担金、これらのコストが将来的に上昇していくため、下水道使用料は上げてかざるを得ない状況になっていると、そういう説明がいいと思いますが、いかがでしょうか。

●（事務局B）汚水処理費などの説明につきましては経営戦略の35ページ、経費回収率の向上については、51ページに記載しております。具体的には、物価高騰や維持管理費の増加、施設の老朽化、これらが原因による維持管理費用の増加が今後見込まれていると記載しておりますが、使用料改定につきましては、適切な時期に検討していく必要がありますといった表現になっております。

○（議長）それでは、今回の経営戦略では、将来的に下水道使用料が上がる可能性がありますというところで、留めておくということですね。

○（C委員）下水道使用料は上げてほしくないというのが、町民の望みだと思いますが、この物価高騰の中で、ある程度はしょうがないと思います。しかしながら、どこまで経費節減できているのかは知りたいです。

○（議長）先ほど管が裂けるという話があったと思いますが、その隙間から雨水が入ることもあります。これを不明水といいますけれど、管の隙間から入ってくる雨水を入らないようにしておくことも、流域下水道への流入量を増やさない、負担金を増やさない対策になると思いますが、そういう意味で不明水対策はやっていますか。

●（事務局C）不明水対策につきましては、現在も行っております。今年度は、中津地区を対象に、汚水管路に煙を流して、どこから雨水が入ってくるかを確認するための送煙調査を行います。

※主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

会長(委員長)
署名欄

審 議 経 過

(6 / 6)

した。

○（議長）わかりました。将来的に使用料を上げざるを得ないことは事実だと思いますが、最小限に抑える努力をしていくことは必要だと思いますので、こういった対策を将来的にも取り組んでいただいて、できる限り、町民の方が負担する使用料を抑えられるよう努めてもらえればと考えます。

○（議長）「愛川町公共下水道事業経営戦略改定（案）について」は、諮問のとおり決定したいと思いますが、ご異議ありませんか。

○（全員）異議なし

○（議長）下水道中期ビジョン改訂版中間見直し（案）と公共下水道事業経営戦略改定（案）につきましては、町長からの諮問事項でございますので、本日の審議結果として、異議がなかった旨の答申をいたします。町への答申手続きについては、会長の私にご一任いただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

（異議なしの声）

（3）その他

【事務局説明】今後の流れ等について説明。

4. 閉 会

※主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

会長（委員長）
署名欄

令和7年度愛川町下水道運営審議会委員名簿

(敬称略)

選出区分	氏名	所属団体等	出欠	備考
公募による町民等	山田 雅人		出席	
	綱島 洋子		欠席	
学識経験者	田中 浩二	神奈川県企業庁企業局厚木水道営業所 副所長	欠席	
	米沢 英樹	神奈川県県土整備局流域下水道整備事務所 下水道部維持計画課長	出席	
区長会の代表者、 関係団体の代表 者、使用者及び排 水設備設置義務者	吉 邑 高 志	区長会代表（会長・宮本区長）	出席	副会長
	荒 井 英 明	神奈川県内陸工業団地協同組合代表 （専務理事）	出席	会長
	馬 場 洋一郎	愛甲商工会代表（副会長）	出席	
	熊 坂 功	あいちゃん商店会代表（会長）	出席	
	木 下 眞樹子	婦人団体連絡協議会代表（会長）	出席	
	石 塚 與 志	婦人団体連絡協議会代表（監事）	欠席	

[委員の任期] 諮問した事項に係る調査審議が終了するまで